

「豊田市地域公共交通計画（素案）」パブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの概要

(1) 実施期間

令和4年7月8日（金曜日）～令和4年8月8日（月曜日）

※Eモニターも併せて実施

（令和4年7月26日（火曜日）～令和4年8月4日（木曜日））

(2) 寄せられた意見の内訳

合計		69通
内訳	直接持参	1通
	ファックス	1通
	郵送	2通
	Eメール	10通
	Eモニター	55通

(3) 寄せられた意見の分類

	項目	件数
①	基本目標1「まちのにぎわいを生み出す交通」に関する事	37件
②	基本目標2「多様な移動手段を活用できる交通」に関する事	40件
③	基本目標3「ミライへつなげる交通」に関する事	33件
④	その他	25件
	合計	135件

2 寄せられた意見等とそれに対する豊田市の考え方

いただいた意見は、主旨を損なわない範囲で集約及び要約しています。

また、感想などや計画に直接関係ない意見については、市の考え方は示していません。

(1) 基本目標1「まちのにぎわいを生み出す交通」に関すること

No.	意見の要旨	市の考え方
1	鉄道やバス停周辺の交通環境の整備を進めてほしい。	鉄道事業者や関係機関の協力を得ながら、整備の課題・必要性・事業費等を総合的に判断し、優先順位に応じて行っています。
2	新規バス路線のルート開設やバス停・便数を増やしてほしい。	新規バス路線の開設、バス停増設、運行本数の増便は、需要や経費等により総合的に判断します。
3	無人に近い状態のバスをよく見かける。利用状況に応じて、車両を小型化してもいいのでは。	利用の少ない区間や時間帯は、利用実態に合わせたサービスの見直しを検討していますが、それに合わせて車両の大きさ等も検討していきます。

(2) 基本目標2「多様な移動手段を活用できる交通」に関すること

No.	意見の要旨	市の考え方
1	タクシーが利用しやすい仕組みを考えていくべき。	これまで公共交通として明確な位置づけがなかったタクシーを生活交通として計画中で明記し、今後はさらにタクシーの活用を事業者と連携し進めていきます。

2	小中学生・高校生の通学手段を検討してほしい。	小中学生の通学を支援するため、今後もスクールバスの運行を継続していきます。 高校生の通学への対応は、基幹交通と生活交通で通学しやすい環境を整えていきます。
3	共助の視点は重要であり、事業者から輸送資源の協力を得ることを考えるべき。	生活交通では、共助の視点が重要と考えており、地域や交通事業者との連携が必要となります。あらゆる移動手段を総動員して移動を確保する観点から福祉施設等の事業者による輸送資源の活用も検討していきます。
4	住民共助による輸送は、継続性や安全面で難しい。	また、住民共助による輸送は地域が取り組みやすいような支援を実施していきます。

(3) 基本目標3「ミライへつなげる交通」に関すること

No.	意見の要旨	市の考え方
1	公共交通がなくなると困るので、現状よりも負担してでも公共交通を維持していくべき。	運行経費が増加傾向にあり現状路線の維持が困難な状況の中で、基幹バスを維持していくためには、現状経費の増加を前提としない形でのサービス内容の見直し、適切な利用者負担等の検討が必要と考えています。
2	効率的な公共交通の運営について検討が必要。	地域バスは、上記の検討に加え、
3	おいでんバスの運賃を下げてください。	利用ニーズや実態に合った運行形態へ転換し、利便性と効率性の両立を図りたいと考えています。

4	先進技術の活用や導入を進めてほしい。	自動車産業の拠点として発展してきた都市の特色を生かし、MaaSやCASEなど移動に関する様々な技術に着目しながら利便性の高いサービスの展開を目指していきます。
---	--------------------	---